

Special Lecture

ヨーロッパの東の片隅で 多文化・多言語共生の歴史を考える ーハンガリー・ルーマニア・スロヴァキアー



秋山 晋吾

一橋大学大学院社会学研究科
教授

ハンガリー・ルーマニア近世史を専攻。ハンガリーのデブレツェン大学やフランスのモンペリエ大学に留学。ハンガリーのブダペシュトやルーマニアのクルージュナポカなどでの文書館史料調査を基に、18-19世紀の人々の歴史を研究しています。おもな著書・訳書『姦通裁判ー18世紀トランシルヴァニアの村の世界ー』（星海社新書、2018年）、M.グリーン著『海賊と商人の地中海ーマルタ騎士団とギリシア商人の近世海洋史ー』（訳書、NTT出版、2014年）など。

2026年

7月2日 木

時間 17:00-18:30

場所 神戸大学鶴甲第1キャンパス
中会議室 (A403教室)

兵庫県神戸市灘区鶴甲1-2-1
対面およびZoomによるハイブリッド開催

申込 <https://us06web.zoom.us/meeting/register/J3eA3clOSMWJGicnV7CrQQ>

対面参加は申込不要です。オンライン参加のみ上記URLから、もしくは右のQRコードを読み取り申込フォームからお申し込みください。



講演概要

ヨーロッパの主要諸都市は、多くの観光客や留学生、そして移民が暮らし、働き、学び、訪れる、多文化・多言語の空間です。

東中欧の町々も例外ではなく、道を歩けば、様々な出身（と思える）人びととすれ違うことができます。ただ、多文化は気づきやすいものだけではありません。その地に根差した住民たち、そこに織り込まれた歴史は、見えにくく、気づきにくいけれども、確実にそこにあります。

講演では、ルーマニア、ハンガリー、スロヴァキアの諸都市を題材に、その風景を見ながら、その歴史とそこに生きる人びとの多言語・多文化の様相をお話しします。

共催 神戸大学大学院国際文化学研究科 岡本研究室
(okamoto_y@people.kobe-u.ac.jp)
神戸大学国際文化学研究推進インスティテュート
(Promis)

協力 神戸グローバルチャレンジプログラム
(神戸GCP)